

生きる(1952年)

優秀映画鑑賞推進事業 in いまだて

懐かしの日本映画

上映作品

1. 用心棒
2. 隠し砦の三悪人
3. 天国と地獄
4. 生きる

映画史に残る名作をいまだてのスクリーンにて

黒澤明監督の傑作集

国立映画アーカイブに所蔵される35mmフィルム映画4作品を連続上映

2024年

10月29日(火)

1作品目/ 10:00 ~ 21:00

詳しい上映スケジュールは裏面をご確認ください。

チケット発売日 7月1日(月)

越前市いまだて芸術館

〒915-0242 越前市粟田部町11-1-1

☎0778-42-2700 ✉arthall@wt.ttn.ne.jp

<https://www.jigyodan-city-echizen.jp/imadate>

入場料 全席自由席

一作品 500円

通し券 1,000円

友の会 800円

【チケット取扱】

- 武生楽市 ●アル・プラザ鯖江
- 越前市文化センター
- 越前市いまだて芸術館

主催 公益財団法人 越前市文化振興・施設管理事業団、国立映画アーカイブ
 特別協力 文化庁、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、株式会社KADOKAWA
 後援 越前市教育委員会、越前市文化協議会、福井新聞社、FBC、福井テレビ、FM福井、月刊URALA
 こしの都ネットワーク、たんなんFM79.1MHz、越前市いきいきシニアクラブ連合会



1. 用心棒

10:00～11:50 (110分)

[1961年 東宝=黒沢プロダクション]



舞台は上州、かつて絹市で栄えた宿場町は、清兵衛一家と丑寅一家との抗争で、無法地帯と化していた。そんな宿場に流れ着いた凄腕の浪人、自称・桑畑三十郎は、両家の親分に自らを用心棒として売り込む…。

【スタッフ】

脚本・監督 黒澤明
脚本・製作 菊島隆三
撮影 宮川一夫
照明 石井長四郎
録音 三上長七郎
〃 下永尚
音楽 佐藤勝
美術 村木与四郎

【出演】

桑畑三十郎 三船敏郎
新田の卯之助 仲代達矢
ぬい 司葉子
清兵衛の女房おりん 山田五十鈴
卯之助の次男亥之吉 加東大介
馬目の清兵衛 河津清三郎
造酒屋徳右衛門 志村喬
百姓の小倅 夏木陽介
居酒屋の権爺 東野英治郎
名主多左衛門 藤原釜足

2. 隠し砦の三悪人

13:00～15:18 (138分)

[1958年 東宝]



時は戦国時代。隣国との戦いに敗れた秋月家の侍大将は、姫を守りながら、軍用金を手に敵中突破を図ろうとしていた。襲いかかるさまざまな難関、手に汗握るスリリングな場面が連続する。

【スタッフ】

脚本 菊島隆三
〃 小国英雄
〃 橋本忍
脚本・監督 黒澤明
撮影 山崎市雄
照明 猪原一郎
録音 矢野口文雄
〃 下永尚
音楽 佐藤勝
美術 村木与四郎

【出演】

真壁六郎太 三船敏郎
雪姫 上原美佐
百姓 太平 千秋実
又七 藤原釜足
田所兵衛 藤田進
老将 長倉和泉 志村喬
百姓娘 樋口年子
老女 三好栄子
落武者 加藤武
山名の番卒 三井弘次
人買い 上田吉二郎

3. 天国と地獄

15:30～17:53 (143分)

[1963年 東宝=黒沢プロダクション]



アメリカの推理作家エド・マクベインの「キングの身代金」を映画化したものであるが、脅迫成立のヒントを借りただけで、ほとんどのトリックは黒澤をはじめとする脚本家たちのアイデアである。

【スタッフ】

原作 エド・マクベイン
脚本 小国英雄
〃 菊島隆三
〃 久板栄二郎
脚本・監督 黒澤明
撮影 中井朝一
〃 斎藤孝雄
照明 森弘充
録音 矢野口文雄
音楽 佐藤勝
美術 村木与四郎

【出演】

権藤金吾 三船敏郎
戸倉警部 仲代達矢
権藤の妻 伶子 香川京子
権藤の秘書 河西 三橋達也
荒井刑事 木村功
田口部長刑事 石山健二郎
捜査本部長 志村喬
運転手 青木 佐田豊
犯人 山崎努

4. 生きる

18:30～20:53 (143分)

[1952年 東宝]



それまで無気力に生きてきた一人の役人が、死という絶対的なものを目前にして自分を見つめ直し、人間としての尊厳をとりもどしていく姿を描いた作品で、主役を演じた志村喬の〈ゴンドラの歌〉が感動的。

【スタッフ】

脚本 橋本忍
〃 小国英雄
脚本・監督 黒澤明
撮影 中井朝一
照明 森茂
録音 矢野口文雄
音楽 早坂文雄
美術 松山崇

【出演】

渡辺勘治 志村喬
小田切とよ 小田切みき
市民課 坂井 田中春男
市民課 野口 千秋実
市民課 大野 藤原釜足
勘治の息子 光男 金子信雄
勘治の兄 喜一 小堀誠
勘治の妻 たつ 浦辺条子
小説家 伊藤雄之助
患者 渡辺篤
医師 清水将夫



いまだて芸術館へのアクセスは便利な越前市デマンド交通をご活用ください！

バスとタクシーの中間的な交通手段で、希望の時間に、指定の停留所まで迎えに来て、目的地近くの停留所まで送ってくれます。決められた時刻表や路線がないため、効率よく移動できます。

運行時間 毎週月、火、木、土曜日 午前8時～午後5時 ※5時以降の運行はしておりませんのでご注意ください。
予約受付 ○電話受付時間 月曜日～土曜日 午前8時～午後5時 ※4時30分以降は当日の予約はできません。
○インターネット受付 24時間 ※乗りたい時間の30分前までに予約してください。

ご利用には事前登録が必要です。郵送もしくはインターネットからお申込みください。

いまだて芸術館
近くの停留所番号

714
あいぱーく今立

718
いまだて芸術館南

市役所（越前市地域交通課）でも登録できます。
ご自宅近くの停留所や、運行料金等、詳しくは
右のQRコードを読み取りご確認ください



デマンド交通について
申込の詳細はこちら